

科目名	精神障害作業療法学【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	青 山 宏・小 松 洋 平						
開講年次	3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	必修（作業）
授業の概要 及びねらい	精神障がいに対する医療や福祉の歴史の変遷・現代のメンタルヘルスの課題を考察したうえで、精神障がいの捉え方、作業療法が果たす機能と役割、その治療構造、評価から治療・援助へ至る一連の作業療法の流れなどを理論的に学習することを目的とし、講義を中心に授業を行います。						
授業の 到達目標	1）精神の病と障がいの関連について理解できる。 2）精神医療の歴史、精神障がいのリハビリテーションと作業療法の発展について理解できる。 3）精神障がい領域での作業療法の機能と役割を理解し、評価から治療に至る流れについて説明できる。 4）作業療法を構成する要素について述べることができる。 5）病気の回復過程を理解し、回復状態に応じた作業療法の目的や役割を理解できる。 6）精神障がい作業療法の評価とは何かを理解し、説明することができる。 7）精神障がい作業療法の計画・立案とは何かを理解し、説明することができる。 8）精神障がい作業療法の実践領域や場について、その目的や役割を理解できる。 9）各精神疾患の作業療法評価や治療、指導、援助内容を理解できる。 10）症状に応じた作業療法評価や治療、指導、援助内容を理解できる。						
学習方法	講義						
テキスト及び 参考書等	教科書：作業療法学全書〔改訂第2版〕 作業治療学2 精神障害 富岡詔子編集 共同医書出版社 参考書：精神障害と作業療法 第2版 山根寛 三輪書店						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○				80	
小テスト等	○					10	
宿題・授業外レポート		○		◎	○	10	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
通 年	第1週	精神医学および精神保健福祉の現況					【小松】
	第2週	社会文化と精神の病					【小松】
	第3週	精神の病と障害					【青山】
	第4週	精神医療保健福祉および作業療法の歴史					【青山】
	第5週	精神障がい者に対する作業療法とは何か（目的、対象者、役割、内容）					【青山】
	第6週	精神障がい者に対する作業療法の活躍の場					【青山】
	第7週	精神障がい作業療法の流れ					【青山】
	第8週	精神障がい作業療法での評価法と治療計画					【青山】
	第9週	治療過程と治療構造の設定					【青山】
	第10週	治療の態度、関わり方					【小松】
	第11週	作業活動と治療的集団の用い方					【小松】
	第12週	精神障がい作業療法に関連した治療理論					【小松】
	第13週	精神障がい作業療法に関連した治療理論					【小松】
	第14週	回復段階に応じた作業療法					【小松】
	第15週	作業療法が目指すもの・まとめ					【小松】
	第16週	統合失調症の基礎知識の復習					【小松】
	第17週	統合失調症の回復段階に応じた作業療法					【小松】
	第18週	統合失調症の回復段階に応じた作業療法					【小松】
	第19週	統合失調症の症状に応じた作業療法					【小松】
	第20週	気分障害の作業療法					【青山】
	第21週	気分障害の作業療法					【青山】
	第22週	神経症ストレス関連障害の作業療法					【青山】
	第23週	摂食障害の作業療法					【青山】
	第24週	境界性パーソナリティ障害の作業療法					【青山】
	第25週	アルコール依存症、薬物依存症の作業療法					【青山】
	第26週	広汎性発達障害に対するの作業療法					【小松】
	第27週	思春期に生じる問題に対する作業療法					【小松】
	第28週	地域社会での作業療法士の役割（退院支援、地域生活支援、家族支援）					【小松】
	第29週	地域社会での作業療法士の役割（就労支援、ソーシャルアクション）					【小松】
	第30週	まとめ					【小松】
	第31週						
	第32週						
備 考	講義前には、教科書等に目を通すなど事前準備をしておいてください。講義後には、講義内容の振り返りなどの復習もするようにしてください。						